

〔事業区分〕

海事産業(船員/港湾/造船)

〔事業者(団体)名〕

清水海運貨物取扱同業会

集え！清水港の未来を担う若者よ！！ ～「オール清水海貨」で若手・中堅社員を育成～

取組の目的(背景等)

急速に変化する事業環境に対応し業界全体の発展を支える人材の育成を目的に、会員各社の社員が社内にとどまらず広い視野をもち、社外との交流を持って相互に啓発を受けながら成長できる場として研修プログラムの提供を行っている。

取組の概要(内容)

- ・各社の若手・中堅社員を中心とした第一線の実務担当者の資質向上を目的とした人材育成プログラム案を策定し、人材育成講座を開講。
- ・人材育成講座は、外部から福知山公立大学特命教授の篠原正人先生を招聘し、年間10回開催(毎月1回。8月、12月は除く)。
- ・研修内容は物流業界が直面する最新テーマを踏まえつつ、講師と会員各社役員が課題や講義内容を設定。ロジスティクスの基礎から最近の港湾政策、さらには経営理論や人的資源管理論まで幅広いテーマを設定しており、研修生のキャリアプランの作成に役立つようなプログラムを実施。
- ・講座の終盤には発表会を開催し、会員各社の役員が聴講するなか、受講者がチームを組み、1年間の成果を基に独創的なプランを発表。

取組の効果

- ・会員各社からは、講座受講生の「積極性が増した」「大きな視点での提案ができるようになった」等の評価をいただいております、中には管理者への登用事例も多数でてきています。
- ・清水港におけるポートセールス、施設開発等の共同活動では、当人材育成講座の経験が連携面において良い影響を与えている。具体的事例として、2019年新興津埠頭への共同物流施設の建設にあたり、プロジェクトチーム内に人材育成講座受講経験者が複数いたことから、各社の利害が絡み合う場面等で調整役を果たしていた。
- ・会員各社の人材育成活動において、当同業会の人材育成講座が重要なプログラムのひとつとなっている。
- ・また、男性が多い当地の物流業界においては女性社員の参加も評価されているところであり、女性社員の参加も毎年増加している。

1. 講義風景(令和元年度人材育成講座)



2. 発表風景(左)と聴講風景(右、後席は各社役員)

